

校区学校保健委員会だより

令和8年9月10日

担当：稜南中学校

8月25日（火）稜南中学校において、福本健太郎先生（学校医）、布井隆行先生（学校歯科医）、西村久先生（学校薬剤師）、濱麻衣保健師（こども家庭課）、校区小中学校の保護者代表と職員が参加して、第5回校区学校保健委員会を開催しました。

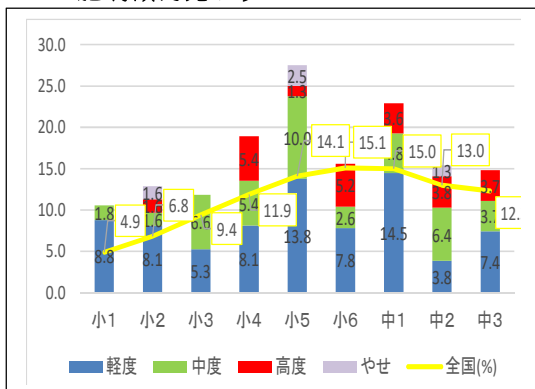
小中学校の健康、体力に関する実態と課題等について意見交換を行いました。

【協議内容】

- ①今年度の健康診断の結果から
- ②生活習慣アンケートの結果から
- ③各学校の課題と取組について

①今年度の健康診断の結果から

▲肥満傾向児が多い

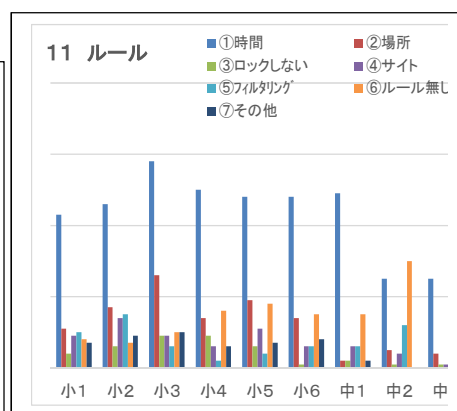


▲むし歯の治療率が低い

	亀川小	楠浦小	稜南中
R2	78.3	88.6	46.8
R3	83.7	75.0	33.0
R4	82.5	50.9	45.1
R5	77.3	51.0	49.6
R6	87.2	50.0	43.0
R7	91.5	64.0	47.3

②生活習慣アンケートの結果から

- ◎中学生は毎日排便がある生徒が年々増えている
- ◎中学生は一日三回の歯みがきが定着している
- ◎小学生は自分のことを好きな子どもが多い
- ◎運動が好きな子どもが小学生は8割を超えている
- ▲中学生は県平均よりも就寝時間が遅い
- ▲薬の正しい使用方法について、小中学校で知識を深める必要がある
- ▲メディアのルールがない家庭が学年が上がるにつれ増えている



【楠浦小学校】

- 歯科指導（全学年）
- 全国小学生歯みがき大会

【亀川小学校】

- 歯科保健指導（全学年）
- 歯みがき教室
- すこやか教室

【稜南中学校】

- むし歯がなかった生徒にも歯科受診票配付
- 歯科医院でブラッシング指導
- 駅伝練習と部活動
- ソーシャルスキルトレーニングの実施

【小中共通実践】

- ライフスキルチェック
- 9年間で身につけたい生活スキルの確認
- 生活リズム名人
- 基本的生活習慣の確立
- 体力向上の取組
- 定期的な体重測定と肥満度の周知

★先生方からのお話

福本健太郎学校医（福本医院）	布井隆行学校歯科医（布井歯科医院）
SNSは中毒性があり、子どもにとってそれだけ面白いものである。決まり事を作って、実践していくと肥満や視力低下等も解決していくのではないかなと思う。	10年前に比べると、フッ化物洗口等の実施により、むし歯の本数は減ってきている。各校の取組で今後ますます減っていくと良いと思う。
西村久学校薬剤師（ニュー天草病院）	濱麻衣保健師（天草市こども家庭課）
親の薬であっても他人の薬は飲まない。朝ごはんを食べてない生徒もいたが、熱中症にもつながる。しっかりと朝ごはんを食べてほしい。食欲がなくてもおにぎりを一口でも食べることが大事である。	肥満・むし歯・メディア関係は天草市の児童生徒の課題でもある。生活習慣の乱れを親子に保健指導できるといい。各学校ができることをして、市の保健師も活用してほしい。

★参加者の感想

- 校医の先生方に出席いただけたことがとても大きい。そして3校合同に意味がある。
- 共有した課題を周知して、効果的な取り組みができると良いと思った。
- 小中の推移や共通課題がよく分かった。肥満やメディア利用など小中連携して取り組んでいきたい。
- 3校合同で行うことに意義があると思った。課題が良く分かり改善方法や助言もあり、今後に応用できると良いと思った。
- 校区の傾向も知ることができ、保護者に参加していただいたことで情報を広めていただけたかなと思った。教師からの声掛けに加え保護者同士、子ども同士の声掛けもできると課題可決につながると思う。
- 体調を整えることは学力や集中力につながっていくと思う。まずはSNSの課題に取り組み、保護者、教職員が協力して子どもの育成につなげていきたい。

～ご参加いただいた皆様、ありがとうございました～